



ユネスコスクール便り

No.133

令和6年2月1日

大牟田市111スクール

担当者通信

特色ある実践事例の紹介

総合 DAY の取組で学びを深めました 橘中学校



9月21日(木)、22日(金)の2日間、橘中学校では「総合 DAY」として各学年で「総合的な学習の時間」を実施し、各学年のテーマ(学習課題)に基づいて、校外での学習やゲストティーチャー(GT)と活動を進めました。

2年生は、「タマリバをつくろう(こんな居場所があったら良いな)」というテーマで2学期開始から活動を行い、仲間が寄り合い集まる場所を考えてきました。活動では、卒業生や地域の方から橘中の歴史や、地域との結びつき、再編で変わる校内の様子などの話を聴くことや、タマリバの企画書作成においてGTのアドバイスを受け、グループごとに工夫を凝らした発表を行いました。



アイデアを出し合う生徒達

「米作りから学ぼう」 上内小学校



上内小学校では、5・6年生の総合的な学習の時間「米作りから学ぼう」を通して、上内農地水環境保全委員会の方々の協力を得て、米作りを行っています。種籾植えから田植え、収穫まで一連の米作り活動を通して、地域の自然や環境、人とのつながりを知り、ふるさとに誇りを持ち、環境を守り続けることや、地域の人々の思いを受け継ぐことを学んでいます。

米作りを通して、様々な人の思いや願いを知った子ども達は、自分たちにできることを考え、収穫後には「JA 愛菜館」で「上内っ子米」の販売やPR・発信に取り組んでいます。



JA 愛菜館での「上内っ子米」販売

吉野ふれあい夏祭りを盛り上げよう 吉野小学校



吉野小学校では、地域の方とのふれあいや協働を通して、まちづくりに関わる学習に取り組んでいます。特に6年生は、総合的な学習の時間「吉野ふれあい夏祭りを盛り上げよう」において、4年ぶりに開催された吉野ふれあい夏祭りを盛り上げる活動に取り組みしました。参加する人に楽しんでもらいたい、参加者同士のつながりを作ってもらいたいという思いをもって、吉野地区総合まちづくり協議会の方々と協働しながら、ヨーヨーすくいなどのゲームを開催したり、椅子運びなどの手伝いをしたりしました。子どもたちは夏祭りの運営に関わる活動を通して、地域に貢献する充実感や達成感を得ることができました。



夏祭り運営に携わる子ども達

交流と共同学習を通して 大牟田特別支援学校



大牟田特別支援学校では、対人関係を広め、社会性を養い、好ましい人間関係を育成するための大切な機会として新潟県見附市立見附特別支援学校と「交流及び共同学習」に取り組んでいます。毎年、学期毎に小学部、中学部、高等部が作品や学習、作業の様子などの動画を送り合って交流を行っています。

交流を重ねるごとに、相手校の友達からの作品が増え、関わりが深まっている事に喜びを感じ、周囲の人たちとつながろうとする意欲を高めることができます。これからも充実した交流を続けていきます。



見附特別支援学校の作品



大牟田特別支援学校の作品